

1, 研究主題

「友だちとかかわり、主体的に学び合う子どもの育成」
～ SWPBS の多層支援システムを活用して ～

2, 主題について

○「友だちとかかわり」とは

めざす子ども像の「だ」誰でも対してもやさしい心を持って関わろうとする子（豊かな心）を受け、「他者と対話する力」「命や人権を大切にする心」「互いを思いや立場を考えて行動する力」を伸ばしていく。

友だちと「かかわる」ことで、個々の学びが更に深まっていく授業をめざす。それぞれが自分の思いや考えをもち、その思いや考えを表現して、友だちと学び合い、学びを全体で共有することによって、個々の考えや思いが深まる「かかわり」が大切であると考ええる。

○「主体的に学ぶ」とは

めざす子ども像の「も」持っている学力をさらに伸ばそうとする子（確かな学力）を受け、「粘り強く取り組む力」「自分で考える力」「計画を立てて学ぶ力」「方法を工夫して解決する力」を伸ばしていく。

また、めざす子ども像の「ち」挑戦する気持ちを持ち、得意なことを高めていこうとする子（心身の健康）を受け、「粘り強く取り組む力」「目標を立てる力」「自分の成長を振り返る力」を伸ばしていく。

学びは主体的な活動であるため、自らの課題と捉えて粘り強く自分の力で解決しようとするのが大切であると考ええる。自分の目標に向かって友だちとかかわりながら何度も挑戦し続けることで、新たな発見や学びを獲得し、大きく成長すること考える。

○「SWPBS の多層支援システムの活用」とは

昨年度は、これまでの研究を受け「友達とかかわることで、考えを深める」ことに主眼をおきながら、友達とかかわり、需要的共感的雰囲気の中で温かく学び合うことで自分の思いや考えと友達の思いや考えを比較・検討・調和・融合し、自分の考えを確立しながら深めることにつながる授業づくりをめざした。その中で、子ども達は友達とかかわり需要的共感的雰囲気の中で学び合うことで、自分の思いや考えと友達の思いや考えを比較・検討・調和・融合することで自分の考えを確立し、考えを深めようとする姿が見受けられるようになってきた。

そこで今年度は、SWPBS (School-Wide Positive Behavioral Interventions and Supports 学校全体で取り組むポジティブな行動支援) の多層支援システムを活用することで、主題にせまってい

3, 研究の内容

○【SWPBS の多層支援システムの構築】

- ① 目標の設定と共有
- ② 指導・支援方法の共有
- ③ 学校全体での取り組みとシステム化
- ④ 成果と課題の検証

○授業づくり・基盤づくり

- ① 一人一人に思いや考えを持たせる工夫・・・課題設定の工夫、思いや考えを持たせるための手立て
- ② かかわりあう場の充実・・・授業の中でのかかわりあう場の設定、縦割り班活動の充実、集会活動の充実
- ③ 表現力を培う場の充実・・・書く活動（詩・俳句・日記・手紙・視写等）、声を出す活動（詩の音読・暗唱・あいさつ・朝の歌等）
- ④ 語彙力や読書意欲を高める環境づくり・・・読み聞かせ、学校図書館の活用、辞書の活用
- ⑤ 家庭との連携・・・書き取り・計算会の実施、「家庭学習のてびき」の作成・配布、PTA広報誌、学校だより、学年通信での呼びかけ

○学力向上

- ① 学力学習状況調査・学力調査・アンケートでの意識や定着度把握
- ② 少人数指導やきめ細やかな支援による「分かる」「できる」授業づくり→
授業改善・図書館活用教育

4, 校内研究授業

- ①初任者研修での見学研・授業研・・・4年2組角崎先生（研究の視点をあてなくてもよい）
 - ・見学研での授業提供（初任研担当から）
 - ・授業研での指導案審議・研究授業・研究協議・・・（事前）職員会議または校内研修での教案審議
（当日）自習体制での研究授業見学
児童下校後、全員参加での研究協議
- ②経験者研修での研究授業・・・1年1組金木先生（指導主事による指導あり・研究の視点をあてる）
 - ・授業研での指導案審議・研究授業・研究協議・・・（事前）職員会議または校内研修での教案審議
（当日）自習体制での研究授業見学
児童下校後、全員参加での研究協議
- ③市人権での研究授業・・・6年部（指導主事による指導あり・研究の視点をあてる）
 - ・授業研での指導案審議・研究授業・研究協議・・・（事前）職員会議または校内研修での教案審議
（当日）自習体制での研究授業見学
児童下校後、全員参加での研究協議

5、授業づくり・基盤づくり、学力向上

担当より別途起案

6、SWPBS の多層支援システムの構築

①主な取組内容とスケジュール

期	日時	取組	内容(担当)
一 学 期	4月 2日	校内研修	SWPBS の主旨と取り組み方の説明 講師 島根大学 小山先生
	5月 7日	企画会での検討	本校どの取組についての提案
		マトリックスたたき台手直し	(研究・人権・生徒指導・特別支援)
	5月12日	職員会議での校内研究の 取組起案	・研究主題、研究授業、授業づくり、基盤づくり、 学力向上の説明 ・SWPBS の取組説明(研究部) ・マトリックスの作成(全教職員)
	5月15日	保護者説明	PTA 総会で保護者へ簡単に説明して頂く ()
		準備	・児童アンケート、ベースライン作成 ・取り組み方、フィードバックの仕方の検討 ・支援システム作り (研究・人権・生徒指導・生徒指導)
	5月26日	職員会議での1学期の取 組起案	・スケジュール等(研究)
	5月最終週	児童アンケート、ベースライ ンの記録	(各学級)
		児童への取組説明	(研究・人権・生徒指導)
	6月～ 1学期末	全校一斉実施	(各学級・全校)
	1学期末	児童アンケート、ベースライ ンの記録	(各学級・全校)
	夏休み	校内研修	・1学期の取組点検・見直し・修正 ・2学期からの取組について検討・準備 ・支援システムの修正 ・(小山先生からの指導?) (全教職員)
	夏休み	2学期の取組の準備	(研究・人権・生徒指導・特別支援)
	二	9月1日 始業式	児童への1学期の結果と 2学期からの取組説明
9月1日～		全校一斉実施	(各学級・全校)

学 期	2 学期末		
		人権週間・人権集会の取組	(人権)
	2 学期末	児童アンケート、ベースラインの記録	(各学級・全校)
	冬休み	校内研修	・2学期の取組点検・見直し・修正 ・(小山先生からの指導?) (全教職員)
	冬休み	3学期の取組の準備	(研究・人権・生徒指導・特別支援)
三 学 期	1 月 8 日 始業式	児童への2学期の結果と3学期からの取組説明	()
	1 月 8 日～ 3 学期末	全校一斉実施	(各学級・全校)
	2 月末	児童アンケート、ベースラインの記録	(各学級・全校)
	3 月	1 年間のまとめ	・結果分析 ・次年度の取組
	3 月 24 日 終業式	結果発表	

②マトリックスについて

例

	きまりを守ろう	自分も友だちも大切にしよう	オアシス
授業中 (教室)	<input type="checkbox"/> 授業が終わったら、次の授業の準備をしよう	<input type="checkbox"/> 話をしている日との方へおへそを向けよう <input type="checkbox"/> 「同じです」「そうだね」「分かりました」など発表している人に反応しよう	<input type="checkbox"/> 「です・ます」のような丁寧な言葉を使おう <input type="checkbox"/> 指名されたら「はい」と返事をしよう
体育 (体育館)	<input type="checkbox"/> すばやく集合・整列しよう <input type="checkbox"/> 使った道具は元の場所にもどそう	<input type="checkbox"/> 授業の準備や片付けを友だちと協力してやろう <input type="checkbox"/> 相手チームのすごいところをほめる言葉で伝えよう	<input type="checkbox"/> 自分のチームが負けても「がんばろう」「ドンマイ」と声をかけよう
そうじ	<input type="checkbox"/> そうじ場所にある決められたマニュアルのとおりそうじをしよう <input type="checkbox"/> 自分の分担場所をそうじ時間内にきれいにしよう	<input type="checkbox"/> そうじ分担をみんなで協力してやろう <input type="checkbox"/> 自分のそうじ分担が終わったら、まだ終わっていない人を手伝おう	<input type="checkbox"/> そうじのはじめと終わりに同じ分担の人とあいさつをしよう
昼休み	<input type="checkbox"/> トイレをしましてから遊	<input type="checkbox"/> 友だちと話をするときは	<input type="checkbox"/> 友だちに「ありがとう」

業間休 み	ぼう <input type="checkbox"/> チャイムを聞いたらすぐ に教室にもどろう	「あったか言葉」を使おう <input type="checkbox"/> 友だちの名前をよぶときは 〇〇さんとよぼう	「ごめんね」と言おう
ろうか	<input type="checkbox"/> ろうかや階段、ベランダ では右側を歩こう	<input type="checkbox"/> 前から人が来てすれちが うときには「どうぞ」とゆずり あおう <input type="checkbox"/> 人にゆずってもらったら 「ありがとう」と言おう	<input type="checkbox"/> 先生やお客さんとすれち がうときは、軽く頭を下げよ う <input type="checkbox"/> 学年がちがっても朝や帰 りのあいさつを大きな声で 言おう

○校内で検討し、持田小バージョンを作る。

○マトリックスの中から、優先度が高く、他の場面でも良い影響が出やすいものから取り組む。

③支援システム作り

第3層支援・・・特別な支援を必要とする個人
第2層支援・・・配慮の必要な一部の児童
第1層支援・・・学校・学級規模

○望ましい行動を効果的に教わることで、その行動ができた際に賞賛や承認を受け、適切に行動しやすい環境を整えることで、全ての児童に望ましい行動を学ばせる。

○第1層支援から第3層支援へと段階的で連続的な支援体制を構築する。